

2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部 : /School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有 : /Available
学域等/Field	/デザイン科学域 : /Academic Field of Design	年次/Year	/2年次 : /2nd Year
課程等/Program	/デザイン・建築学課程・課程専門科目 : /Specialized Subjects for Undergraduate Program of Design and Architecture	学期/Semester	/前学期 : /First term
分類/Category	/:/	曜日時限/Day & Period	/水 3-4 : /Wed.3-4

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	13113501			
科目番号 /Course Number	13160006			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	建築計画Ⅰ : Architectural Planning : Synthetic Theory			
担当教員名 / Instructor(s)	/阪田 弘一/高木 真人 : SAKATA Koichi/TAKAGI Masato/			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	建築計画の基礎理論の講義である。建築物の企画・計画・設計における建築計画の位置づけをおこない、形態・機能・規模などに関する建築計画の重要なテーマに関する基礎的概念・理論、そして人間の行動や意識・心理と空間との相互関係について理解を深める。
英	The objective of This lecture is to learn a basic theory for architectural design.

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	建築に何が求められているかが説明できる。 建築のプランや形態を健康、心理、機能、用途、構造、設備、材料、コスト、生産、歴史、風土など多様な側面から考えることができる。 人間の行動や意識・心理との相互関係を考えることができる。
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan		
No.	項目 Topics	内容 Content
1	日 建築の成り立ち	建築が、原始から現代にいたるまでどのように変化してきたかを通史的にとらえ、建築

			の基本的性格を講述する。
	英	Organization of architecture	
2	日	建築の形態（１）	気候風土によって建築の形態が異なることを示し、我が国の建築に求められる形態のあり方を示す。
	英	Formation of architecture(1)	
3	日	建築の形態（２）	木造や鉄筋コンクリート造など構造の材料や形式の基本を解説し、建築計画の上から構造や建築技術を講述する。
	英	Formation of architecture(2)	
4	日	形態知覚	図と地、錯視現象、知覚の恒常性、視認距離、ブラックホール効果、奥行と立体感、色彩の知覚、環境の認知。
	英	Perception of architectural space	
5	日	心理的環境	人間の行動にひそむ心理的な環境への対応を、スペーシング行動などから考える。
	英	Psychological environment	Psychological environment
6	日	寸法と規模（１）	設計寸法の決め方、人体寸法と動作寸法、平面寸法、物品の寸法。廊下・階段・エレベーターなどの寸法。
	英	Size and volume of architecture(1)	
7	日	寸法と規模（２）	モジュールや畳寸法など寸法のシステム。規模が何によって決まるかを解説。規模計画の基礎理論を講述する。
	英	Size and volume of architecture(2)	
8	日	空間の性能（１）	使いやすさ、動線、快適性、気温、湿度、明るさ、音響などを空間の機能として考え、それらの建築計画を講述する。
	英	Efficiency of architecture(1)	
9	日	空間の性能（２）	建築がそなえなければならない安全性、耐久性、経済性、文化性について考える。
	英	Efficiency of architecture(2)	
10	日	計画の技法（１）	目標、データ、機能図、設計条件の検討、どのようなプロセスで、どのように計画案を作成するか、調査技法、調査結果の統計解析などを講述する。
	英	Techniques of architectural planning(1)	
11	日	計画の技法（２）	空間構成の手法、プランタイプ、ル・コルビュジェの5原則、コア・システム、ゾーニング、グリッド・プランニング。
	英	Techniques of architectural planning(2)	
12	日	計画の技法（３）	空間構成の要素である壁、床、天井、屋根、開口部などのディテールの建築計画の基礎的要点を解説する。
	英	Techniques of architectural planning(3)	
13	日	外部空間の構成と形（１）	外部空間におけるスケールの特性、広場と歩行空間の計画手法を講述する。
	英	Composition and form of outside space	
14	日	外部空間の構成と形（２）	外部空間の構成、建物の配置と外部空間の関係を講述する。
	英	Conclusion	
15	日	まとめ	建築計画の総論をまとめるとともに、建築計画においてどのような考え方が求められるか講述。建築で求められる職能を考える。
	英	Field work	

履修条件 Prerequisite(s)

日	建築設計実習を履修していることが望ましい。
英	

授業時間外学習（予習・復習等）

Required study time, Preparation and review	
日	事前に教科書を読んでおくことが望ましい。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	教科書「新訂 建築計画1」(岡田光正ほか著, 鹿島出版会)。参考書は講義で紹介する。
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	期末テスト 100%により評価する。
英	

留意事項等 Point to consider	
日	
英	